

開講科目名 Course	刑事法研究 (A) / Criminal Law (A)
時間割コード Course Code	13350
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	他 2
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	遠山 圭一
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	オンライン授業
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	遠山 圭一 (法学部)
授業の目標	刑事訴訟法の全体像や基本的知識を学習して刑事手続の理解を深めること、具体的事例や実務上の問題点の検討を通じて事案分析能力や論理的思考力を習得することを目指します。
授業の概要	<p>刑事訴訟法の基本的知識や諸問題を学習します。刑事手続がどのように進んでいくのか、刑事手続の全体を意識しつつ、捜査や公判を中心に基本的知識や諸問題を検討します。</p> <p>この授業は、Googleクラスルームを利用した遠隔授業です。 授業開始時刻までに、Googleクラスルームを利用してレジュメと小テストを配布します。 小テストを提出期限までに提出する必要があります。</p>
評価方法	毎回実施する小テストの提出、内容をもって成績評価を行います。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	1 ガイダンス 2 総論 3 捜査の端緒 4 捜査に関する一般規範、逮捕・勾留 5 逮捕・勾留、逮捕・勾留に関する諸問題 6 捜索・押収・検証等 7 供述を得るための捜査、被疑者の防御 8 公訴提起 9 公判手続の流れ 10 審判の対象 11 証明と認定 12 伝聞証拠の証拠能力 13 自白の証拠能力と証明力、違法収集証拠の証拠能力 14 裁判 15 まとめ
テキスト	レジュメを配布します。
参考書	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当する

担当教員の実務経験を活かした授業の内容	弁護士として、民事事件・刑事事件などに携わっている教員が、実務経験を活かして、刑事訴訟法の基本的知識や諸問題について解説する科目です。
質問への対応方法	メールにて対応します。
フィードバックの方法	授業内で実施する課題については、授業内に評価を示します。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	授業内容に応じて、予習・復習時間を示します。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	16. 平和と公正をすべての人に
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	